

令和元年度 厚生労働科学研究補助金(がん政策研究事業)

「がん・生殖医療連携ネットワークの全国展開と小児・AYA 世代がん患者に対する
妊孕性温存の診療体制の均てん化にむけた臨床研究—がん医療の充実を志向して

(19EA1015) 」

研究①「本邦における小児・AYA 世代がん患者の生殖機能に関するがん・生殖医療連携体制
の拡充と機能維持に向けた研究」

『地域がん・生殖医療ネットワーク構築を考える会』

【日時】 令和2年2月5日(金) 11:50-16:00

【場所】 TKP 新橋カンファレンスセンター14階 ホール 14E
東京都千代田区内幸町 1-3-1 幸ビルディング

【内容】 がん対策推進基本計画(第3期)の「小児、AYA 世代がん患者に対する生殖機能に
関する情報提供および意思決定支援体制構築」に向けた、各自治体における「が
ん・生殖医療ネットワーク」立ち上げと、今後のロードマップの話し合い

【参加予定者】

- 全国 24 箇所のがん・生殖医療ネットワーク未整備地域におけるネットワーク構築に関してご指
導、ご尽力いただける、①各行政のがん対策関連部署の行政官、②がん診療連携拠点病院にお
いてがん診療の指導的立場の先生または実務医師、③産婦人科診療の指導的立場の医師(可能
であれば日本産科婦人科学会医学的適応による未受精卵子など凍結登録施設あるいは ART 登録
施設)または実務担当医師
- 厚生労働省健康局がん・疾病対策課 清水裕介先生
厚生労働省健康局がん・疾病対策課 小田尚生様
- 研究代表者：鈴木直(聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授)
- 研究分担者：高井泰先生(埼玉医科大学総合医療センター産婦人科 教授)
古井辰郎先生(岐阜大学大学院医学系研究科産科婦人科学 臨床教授)
- 研究協力者：原鐵晃先生(県立広島病院生殖医療科 主任部長)
今井伸先生(聖隷浜松病院リプロダクションセンター センター長)
堀江昭史先生(京都大学医学部婦人科学産科学教室 講師)
吉田秀樹先生(京都府立大学小児科学教室 助教：宮地充先生(学内講師) 代理)
竹中基記先生(岐阜大学医学部附属病院産科婦人科 臨床講師)
重松幸佑先生(埼玉医科大学総合医療センター産婦人科 助教)
川原泰(聖マリアンナ医科大学産婦人科学 助教)

【議事次第】

- ◆ 11:50-12:00 挨拶：清水裕介先生（厚生労働省健康局がん・疾病対策課 医薬・生活衛生局総務課医薬品副作用被害対策室併任がん検診対策専門官）
- ◆ 12:00-12:10 挨拶：鈴木直、高井泰先生、古井辰郎先生
- ◆ 12:10-12:25 本厚労科研班研究の取り組みならびにミッションに関して：鈴木直
- 12:25-14:05 第1部：がん・生殖医療ネットワークの現状
- ◆ 12:25-12:45 岐阜県の取り組み：古井辰郎先生
- ◆ 12:45-13:05 埼玉県の取り組み：高井泰先生
- ◆ 13:05-13:25 京都府の取り組み：堀江昭史先生
- ◆ 13:25-13:45 広島県の取り組み：原鐵晃先生
- ◆ 13:45-14:05 質疑応答
- ◆ 14:05-14:15 休憩
- 14:15-16:00 第2部：小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療ネットワーク構築にむけたワークショップ
- ◆ 14:15-15:15 ワークショップ（各自治体に分かれて討議）
- ◆ 15:15-16:00 総合討論